

笑顔あふれるまち 飯南町

IINAN

い-なん

2023

4

No.220



YOHAKU ARIMASU
IINANCHO

あります 飯南町

特集 令和5年度施策方針



新たな制服、新たな挑戦。(飯南高校)

令和5年度施政方針

飯南町で暮らして良かった。 これからもこのまちに住み続けたい と思えるまちに。



町長 塚原 隆昭

副町長 奥田 弘樹

今年度の先導的な施策 脱炭素社会の 実現に向けた取組

3月3日に「飯南町脱炭素のまち宣言」を行い、「2050年に二酸化炭素の排出を全体として実質ゼロにすることを目指す」と公表しました。「J-クレジット制度を推進し、「新エネルギー設備の導入補助金」を拡充します。中長期的には、脱炭素社会への移行や再生可能エネルギーの導入に向けた、計画を策定していきます。

自治体DXの推進

- (1)自治体の情報システムの標準化・共通化
 - (2)マイナンバーカードの普及促進
 - (3)行政手続きのオンライン化
- 右記の3つを柱に、「LINE」を活用した電子申請等の充実、電子入札の開始など、町民の皆さんの利便性向上や行政事務の効率化、ICTの活用による事業推進を図ります。

子ども広場の整備

「赤名地区」「志々地区」に子ども広場を整備します。赤名地区は、ばたん園に隣接する「赤名ふれあい公園」を活用し、志々地区は、地域の拠点である「さつき会館」敷地内に整備する計画です。頓原地区は、道の駅頓原周辺整備で、緑地公園の活用方法も検討しています。地区ごとに特色ある子ども広場を整備し、まちの至るところで子どもたちの声が響きわたる環境づくりを進めます。

総合振興計画に 掲げる主要施策

自治・協働

書籍「余白の中で。」の発行
ブランドメッセージ「余白あります。」を活用した本町のプロモーションの一端として、書籍「余白の中で。」を発行しました。住民やプロのライター、写真家の方が、さまざまな視点からまちの暮らしぶりなどを表現したこの本を活用し、まちの魅力を発信していきます。

財政の健全化

- (1)行政の効率化 効率的でスリムな組織体制、公共施設の管理運営費の適正化
- (2)事務事業の見直し 公共投資の計画的な執行、町債の発行抑制と繰上償還の実施

公約に掲げる5つの重点的政策

- ①子どもたちの声が聞こえるまちづくり(少子化対策)
- ②安心・安全なまちづくり
- ③産業が元気なまちづくり
- ④定住を進めるまちづくり
- ⑤歴史・文化を感じるまちづくり



詳細はこちらをご覧ください

令和5年第2回飯南町議会定例会
町長所信表明・提案理由説明要旨

(3)財源の確保 税収・ふるさと納税、基金運用、財産処分などによる財源の確保
右記の3つの柱を念頭に、攻めと守りのバランスの取れた予算編成を行い、健全な財政運営に向け取り組みます。
※詳細は4〜5ページ

教育・文化・子育て

教育環境の充実

支援を要する児童生徒のための相談・指導体制の充実、ICT教育推進に向けた教職員への研修や通信環境の改善など、必要な体制を整備します。

教育環境基本方針は、学区ごとの意見交換会を開催するなど、保護者や町民の皆さんのご意見を踏まえ、今後の教育環境の在り方について方向性を示します。併せて、小中学校単位で「学校運営協議会(コミュニティスクール)」を設置し、学校と地域の信頼関係を深め、より良い教育環境と地域づくりにつなげていきます。

学校給食の魅力化

児童生徒に安心安全で、地元食材をたくさん使ったおいしい学校給食を提供するため、「学校給食魅力化事業」に

取り組みます。飯南ポーク、飯南米や高原野菜など、飯南町の四季を感じられる食材を提供し、子どもたちの「感謝の気持ち」を育むだけでなく、「食育」につなげていきます。

子育て支援の充実

新たな取組として、お子さまの誕生の際に、町産材を活用した木工品を贈呈します。2歳未満の子が対象の「子育て世帯日常生活用品給付事業」は、郵便局と連携し、用品を直接利用者の自宅へ送付するため、サービスの拡充を図ります。

滞在型地域交流 拠点施設の整備

地元住民を中心に町民の皆さんと飯南高校生の交流、地域と学校をつなぐ滞在機能を有する施設の整備を、令和7年4月供用の開始に向け取り組みます。

産業

農業の振興

「飯南米のブランド化と積

極的なPR」営農組織の広域連携や、地域農業を主導的に牽引する担い手の育成、「生産性向上や作業省力化を図る基盤整備による収益性確保」IT等先端技術を活用したスマート農業技術の普及」に取り組みます。

畜産の振興

昨年の全国和牛能力共進会で、奥出雲和牛の品質レベルの高さが全国区となりました。更なるブランド力強化、品質向上に向けた和牛改良を促進し、町内産和牛の有利販売、畜産農家の所得向上に繋がります。

飯南町堆肥センターの恒常的な経営赤字解決のため、保管効率の向上、販売方法の多様化に対応できるように、新たにペレット製造設備を導入し、経営改善につなげます。

林業の振興

3月24日、飯石森林組合と農林大学校、本町の3者で、

地域の林業振興や就業者確保を目的とした連携協定を締結。町内での森林整備の一層の推進と町内で活躍する優秀な林業就業者の確保に向け、産官学が連携して取り組みます。

昨年度から開始した町有林を活用したクレジット販売は、引き続き企業への積極的なPR販売に取り組みむと共に、購入いただいた企業との関係強化に努めます。

商工業の振興

飯南町商工会及び飯南振興カード会で、「町内電子地域振興カード」の発行を検討されており、地域経済とコミュニティの活性化が図られることを期待しています。

保健・医療・介護・福祉

地域医療の維持・充実

人材が不足している薬剤師の確保に取り組むと共に、引き続き安定した医療を提供するため、島根県、島根大学などの協力により、診療体制を維持していきます。

持続可能な地域医療体制確保のため「公立病院経営強化プラン」に従い、地域医療が抱える課題の解決に取り組みます。

高齢者福祉 ブランドデザイン

職員の高齢化や担い手不足解消と住民福祉向上のため、持続可能な福祉サービスの在り方を示す「ブランドデザイン」を策定します。ブランドデザインに基づき、ハード、ソフト両面で、医療と介護福祉の切れ目ないサービスの提供を目指します。

生活環境

住宅の整備

町産材をふんだんに活用した板倉構法による定住住宅「八神里山住宅」とセミオーダーによる定住促進賃貸住宅は、引き続き入居者の募集を行います。

新たな公営住宅の整備は、既存の单身者向け住宅の待機者や入居相談があり、頓原地内での単身用住宅の整備に向け、設計を実施します。

地域防災力の向上

コロナ禍により町全体での防災訓練を中止してきましたが、4年ぶりの訓練を6月4日に実施します。日頃から、そして繰り返しの訓練が大切ですので、町民の皆さんのご参加をお願いします。



総合振興計画に掲げる6つの分野ごとに 令和5年度の主な事業を紹介します

[新]:新規事業 [拡]:拡充事業



自治・協働

地域おこし協力隊の活動	4,557万円
集落支援員の活動	1,739万円
定住対策に取り組む集落への補助金	1,000万円
地域づくりや若者・女性の活動に対する補助金、人材育成講座	812万円
[新] ブランドメッセージ「余白あります。」によるまちのプロモーション	368万円
[新] 滞在型地域交流拠点施設の整備 (R5~R6)	3,421万円



保健・医療・介護・福祉

老人ホーム入所措置	1億2,354万円
障がい者福祉の推進(医療費助成、介護・訓練等給付等)	2億5,227万円
医療従事者確保対策(学生への支援金、就業支度金)	1,180万円
各種・接種の実施(インフルエンザ等)	1,797万円
各種健診の実施(健診、がん・歯科検診、乳幼児健診等)	3,622万円
[新] 飯南病院の電子カルテ更新	2億1,538万円



自然環境

[新] 再生可能エネルギー導入計画の策定	1,728万円
[拡] 再生可能エネルギー設備等導入助成(太陽光・熱・薪ストーブ、蓄電池、林地残材集積)	334万円
[新] EV充電設備の更新	493万円



教育・文化・子育て

[拡] 飯南高校の魅力化(教育魅力化推進員の配置、生徒募集、部活動や寮費の助成、スクールバス運行等)	4,409万円
[新] こども広場の整備(赤名・志々)	5,980万円
[拡] 子育て支援(出産祝金、子育て給付、医療費助成等)	2,714万円
保育所の運営	2億9,228万円
[新] 芸術文化や民俗文化財に触れる機会	52万円
[拡] 国民スポーツ大会(R12)に向けたソフトボールチームの支援	113万円
[拡] 町内産食材を活用した学校給食の魅力化	83万円



産業

飯南町地域づくり協同組合への支援	2,300万円
飯南米の有利販売を図る取組(生産者大会、PR活動等)	581万円
リースハウスの整備(4棟)	2,656万円
農作物の鳥獣被害防止	1,342万円
[新] 堆肥センターの機能強化(ペレット堆肥製造機等の整備)	1,932万円
町産材を活用した住宅建設への補助金	500万円
[新] スキー場施設の機能強化	8,910万円
[新] 電子地域振興カード(地域通貨)の導入支援	3,079万円
[新] 商店街街路灯の更新(R5~R6)	3,065万円



生活環境

町内に住宅を建設する若者世代への補助金	400万円
セミオーダー式定住住宅(3棟)建設	8,586万円
公共交通の確保(町営バス、デマンドバス等)	9,850万円
ごみ処理施設運営負担金	1億4,677万円
道路除雪、除雪車更新	6,961万円
町道改良工事	1億1,470万円
住宅店舗リフォーム補助金	301万円
町営住宅の新築、解体工事	1億5,698万円
消防団関連経費(消防団活動経費、車両更新、防火水槽移設)	7,949万円
[新] 赤名地区の水道管更新(設計)	790万円
合併浄化槽新規設置(10基)	1,716万円

令和5年度 当初予算の概要

令和5年度一般会計予算の総額は73億884万円で、昨年度から10.3億円減少しています。令和3年7月豪雨災害の災害復旧費の減少が大きな要因です。

予算規模は例年の規模に落ち着きました。しかし、社会保障経費や施設維持管理費、広域行政(消防、ごみ処理、ケーブルテレビ事業など)に関わる経費などの増加が続いており、基金(貯金)を取り崩すことなどで対応しています。総合振興計画や総合戦略に掲げた施策へ積極的に予算を投入する一方で、事務や既存事業の見直しを行い、限られた財源を効果的に活用していきます。

■問合せ/総務課(財政担当) ☎ 76-2211

一般会計・特別会計合わせて

106億2,716万円

町民1人当たり・1世帯当たり(令和5年4月1日現在)

●人口:4,506人	●世帯:1,999戸
[使用する費用]	[負担する税金]
1人当たり:162万円	1人当たり:10万円
1世帯当たり:366万円	1世帯当たり:24万円

前年度比
6.1
ポイント減

会計名	予算額	前年度比
一般会計	73億884万円	12.3ポイント減
国民健康保険事業	6億5,305万円	0.7ポイント減
後期高齢者医療事業	1億8,381万円	1.4ポイント増
介護保険サービス事業	4,190万円	29.5ポイント増
病院事業	15億4,097万円	23.5ポイント増
簡易水道事業	3億8,129万円	3.8ポイント増
下水道事業	5億1,729万円	3.6ポイント増
合計	106億2,716万円	6.1ポイント減

※四捨五入の関係で「各会計の予算額」と「合計」が一致していません。

一般会計当初予算 73億884万円

歳入

依存財源	地方交付税	38億5,000万円(52.7%)
	国県支出金	11億489万円(15.1%)
	町債	7億3,360万円(10.0%)
	町税	4億7,024万円(6.4%)
	繰入金	4億3,890万円(6.0%)
	その他	7億1,121万円(9.8%)
自主財源		

歳出

民生費	14億927万円(19.3%)
総務費	13億2,522万円(18.1%)
公債費	10億5,056万円(14.4%)
衛生費	8億3,021万円(11.4%)
農林水産業費	7億566万円(9.7%)
土木費	6億6,804万円(9.1%)
商工費	4億7,558万円(6.5%)
教育費	4億4,643万円(6.1%)
消防費	2億4,921万円(3.4%)
災害復旧費	7,560万円(1.0%)
議会費	6,106万円(0.8%)
予備費	1,200万円(0.2%)

歳入全体に占める地方交付税・国県支出金・町債の割合は77.8%で、大部分を国や県などから交付されるお金(依存財源)に頼っています。地方交付税は国の制度改正等による増加を見込んで5千万円増の38億5千万円を見込み、町債(借金)は昨年度から3千万円減の7.3億円の発行を予定しています。基金の取り崩しは、昨年度から2億円減少し4.4億円となりましたが、取り崩し額が大きい状態が続いています。

令和5年度に新たに実施する事業は、民生費のこども広場の整備のほか、総務費の滞在型地域交流拠点施設整備や再生可能エネルギー導入計画策定、農林水産業費の堆肥センター機能強化、商工費の電子地域振興カード(地域通貨)導入支援やスキー場機能強化などがあります。昨年度と比較すると、光熱水費で1千6百万円、指定管理施設の管理委託料で2千3百万円、広域行政に関わる経費で4千6百万円などが増加。借金の返済費用にあたる公債費は10.5億円で、昨年度から5千万円減少しましたが、返済資金の調達に厳しい状態が続いています。※指定管理施設…町所有の施設で、運営や管理を民間団体等に委託している施設

飯南ラボフォーラム開催

3月11日(土)

本町と共同でまちづくりの研究を行う島根大学「飯南ラボ」の成果報告会「飯南ラボフォーラム」を開催しました。

島根大学の学生6人が、赤名地区での自動運転や神戸川の活用など、まちづくりにつながる提案を発表。その後、来島ビジョン推進会議の活動報告もありました。

島根大学3年生の内田有香さんは「夏には赤名地区に滞在し、調査を行います。飯南町のまちづくりに貢献したい」と話していました。



赤名地区の住民だけでなく、高校生や大学生など約40人が参加

歴史文化講座

3月18日(土)

町が掲げる重点政策「歴史文化を感じるまちづくり」の一環として「歴史文化講演会」を開催しました。

東京農業大学の高橋悟名教授が「築立暗渠」の建設背景と活用をテーマに講演。約50人の参加者に、「築立暗渠を観光資源として活用することの重要性を話しました。講演後、「築立」と呼ばれる石造アーチ橋(上区)を見学しました。

参加者は「建設された経緯や目的を知ることができて勉強になった」と話していました。



現地で高橋教授の説明にも熱が入ります

林業の振興に向けた協定を締結

3月24日(金)

本町と飯石森林組合、島根県立農林大学校で連携協定を締結し、締結式を行いました。

本町は、農林大学校林業科を有する県内で唯一の林業教育のまちです。今後、産官学が連携し、地域の循環型林業の規模拡大と、地域で暮らしながら働く優秀な人材確保を目指します。

締結式には、農林大学校の新2年生3人が立会人として出席。閉式後には、3人から進路や学校生活への意気込みが聞かれました。



立会人の学生3人と吾郷農林大学校長(左から2人目)、立石森林組合代表理事組合長(右端)

カーブミラー寄贈

3月30日(木)

雲南地区交通安全協会飯南支部から、カーブミラー6基の寄贈を受けました。

支部長の和田幹雄さん(長谷)は、「悲惨な交通事故防止のため、積極的な活用をお願いしたい」と話されました。

今後、経年劣化が進み、見えにくくなったカーブミラーと順次交換し、交通事故防止につながっていきます。

書籍の寄贈

4月7日(金)

○書籍「保健室から見える本音が言えない子どもたち」(青春出版社)9冊(学校・図書館に配架)

「生まれ育った飯南町に恩返しができる」と話す桑原さんは、本の寄贈のほかに、全12回の講座を町内で開催予定です。

脱炭素に向け連携協定を締結

4月10日(月)

姉妹都市である兵庫県伊丹市を中心に、大阪府阪南市、民間の立場で参画する(株)ソーシャル・エックスと4者で脱炭素に向け、地域循環共生に関する連携協定を締結。伊丹市役所で締結式を行いました。

伊丹市は本町の森林資源を活用し、環境学習推進や公共施設の木質化などに取り組みされます。

本町は、協定締結を機に、伊丹市との良好な関係性をより強め、Jクレジットの販売促進、町産材の利用拡大を図ります。



飯南町産の木材で作られた協定書のレプリカを手に撮影

地域活性化に向けた協定を締結

4月13日(木)

飯南米を主力商品として取り扱い、関東圏域や大阪府を中心に、事業を展開される(株)AKOMEYA TOKYO(アコメヤトウキョウ)と包括連携協定を締結しました。

この協定は、本町の魅力向上、情報発信の強化、関係人口の拡大を連携事項としています。

今後は、同社と連携し、関係人口のニーズを把握し、必要な情報発信を行うことで、移住定住促進や観光客の誘致、ふるさと納税増額などにつなげていきます。



(株)AKOMEYA TOKYO山本代表取締役社長(右)と塚原町長

谷地区が情報発信で表彰

谷公民館と谷自治振興会が共同で発行する「情報たに」が「第9回全国公民館情報コンクール」で奨励賞を受賞しました。

「情報たに」は平成22年から公民館と自治振興会で発行を開始。谷地区の活動の様子を発信してきました。

谷公民館は、恒例のヤマメのつかみ取り大会の映像で、雲南夢ネットの人気コーナー「月間ビデオタイムス」のビデオ投稿部門でも年間大賞を受賞。注力している情報発信の取組が評価されました。



左から門脇公民館長、永田自治振興会長、高橋公民館主事

飯南高校に教育魅力化推進員を配置

飯南高校の魅力化をさらに推進するため、昨年度で飯南高校を最後に定年退職された来田良博氏を町の「教育魅力化推進員」として配置しました。

昨年の飯南高校野球部の活躍は、生徒募集においても大変注目されたことから、専任の野球部指導者として活動します。安定的な指導体制により、部活動を通じた飯南高校の魅力化を高めていくと同時に、スポーツを通じた町内小中学校の指導者育成にも努めていきます。



野球部での活動だけでなく、生徒募集なども行います

令和5年度 飯南町行政機構・職員配置表

町長 塚原 隆昭 副町長 奥田 弘樹 教育長 大谷 哲也(再任:令和5年4月1日~令和8年3月31日)

議会事務局 電話76-2190 【事務局長】那須和博(主な仕事)議会運営・監査委員の補助事務

出納室 電話76-2215 【会計管理者】高木ゆかり(主な仕事)出納事務・決算・債券運用

総務課 電話76-2211 【課長】那須忠巳 【課長補佐】三島光暁

総務担当	前川由紀	(主な仕事) 例規・庶務・秘書・行政改革
行革・情報担当	山内孝之・石川 健	(主な仕事) 選挙・情報・入札
財政担当	大谷剛史郎・深石純生	(主な仕事) 予算・町債・基金・地方交付税
派遣職員	田村 正(雲南市)・三上大輔(雲南広域連合)・山本友梨子(島根県市町村課)	

防災危機管理室 【室長】田村 剛

防災担当 渡邊信太郎 (主な仕事) 消防防災

まちづくり推進課 電話76-2864 【課長】藤原清伸 【課長補佐】関島哲郎

地域振興担当	安部亜裕子・米山裕希(島根県からの派遣職員)	(主な仕事) 地域振興・ふるさと納税・国道54号活性化対策・志津見ダム周辺地域活性化対策
定住担当	石川 理・草間美里	(主な仕事) 定住対策・地域おこし協力隊・人材確保支援センター
企画担当	岡田祐也・森山雄三	(主な仕事) 企画・総合振興計画・地方創生・過疎対策・広域行政・土地利用
情報担当	三島啓太・吾郷紘平	(主な仕事) 広聴広報・統計・飯南高校支援

産業振興課 電話76-2214 【課長】長島淳二 【総括監】本間康浩 【課長補佐】澤田和彦(農業委員会事務局局長兼務)

農業・林業振興担当	星野 崇・田邊郁也・岡田季樹・落合亮仁・景山瑛太・石田壮太	(主な仕事) 農業振興・特産園芸・果樹振興・ほ場整備・畜産振興・有害鳥獣対策・林業振興
商工・観光振興担当	林 泰宏・信藤 晃	(主な仕事) 観光振興・都市交流・商工振興・新産業・企業誘致

住民課 電話76-2213 【課長】永井あけみ 【課長補佐】渡邊博司(来島支所長兼務) 【課長補佐】野津史昭

税務担当	熊谷かおり・安田健一・福永終真	(主な仕事) 税務・国保料賦課徴収・後期高齢者保険料賦課徴収
町民生活担当	渡邊典子・石橋早紀	(主な仕事) 環境衛生・戸籍・マイナンバー・地域交通・窓口事務・他庁舎業務の補完
来島支所 電話76-2393	難波慎司	(主な仕事) 交通安全・国民年金・窓口事務

こども未来推進室 【室長】永井あけみ(兼務)

子育て支援担当	湯立美智恵・二階堂了麻	(主な仕事) 子育て支援・保育所事務・児童手当
派遣職員 (社会福祉協議会)	桜ヶ台保育所【所長】原 美佳・石田裕美・山根寛子 赤名保育所【所長】景山直美・飯島恵美子 来島保育所 奥野陽子・岡田雅子・空岡悦子(再任用)	

建設課 電話76-3942 【課長】森山 篤 【総括監】藤原一也

土木担当	景山貴文・吉井健司・景山慎也・松原芳輝	(主な仕事) 公共土木・農林土木・災害復旧・公営住宅
上下水道担当	塚原 誠・朝津直哉・小林 亘	(主な仕事) 水道・下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽

教育委員会 電話76-3944 【次長】石飛幹祐 【課長補佐】奥野憲孝

学校教育担当	藤原さくら・宮川笙子 郷原秀文(県教育委員会からの派遣職員)	(主な仕事) 庶務・教育行政総括・学校教育事務・給食会
社会教育担当	小野祥寛・浅原美彩・若槻慎也(県教育委員会からの派遣職員)	(主な仕事) 社会教育・社会体育・人権教育・文化振興・文化財保護

頓原基幹支所 電話72-0311 【基幹支所長】深石尚志

町民生活・土地改良担当	竹田佑子・三上 翔	(主な仕事) 窓口事務・土地改良区
地籍調査担当	山田弘幸	(主な仕事) 地籍調査
志々支所 電話73-0001	三嶋一生	(主な仕事) 窓口事務

保健福祉課 電話72-1770 【課長】安部 農 【課長補佐】後長隆哉 【課長補佐】小玉千恵(再任用)

保健・医療担当	田原理映 山戸由紀・石飛悦子・田村素子 吉田育枝・空岡 舞・三島亜美	(主な仕事) 国保給付・住民健診 (主な仕事) 子育て包括支援(妊娠期からの母子乳幼児期保健)、 青年期・壮年期・高齢期保健・予防接種・食育・ 健康づくり・住民健康管理・子ども家庭総合支援関係
地域包括支援センター	[看護師長] 穴戸陽子・嘉田将典・田中多美・石飛悦子(兼務)	(主な仕事) 高齢者の総合相談・介護予防・認知症予防
福祉担当	福田峰子・景山雄斗	(主な仕事) 福祉の総合的業務・敬老事業・介護保険・民生児童委員会・ 乳児こども医療・後期高齢者給付
地域包括ケア推進担当	[事務局] 安部 農(兼務)・後長隆哉(兼務)	(主な仕事) 医療対策・医療従事者確保対策・保健医療介護福祉の 連携・地域包括医療ケア推進に関すること

福祉事務所 電話72-1773 【所長】門脇貴子

福祉担当 三島智恵・海田竜一・三宅一樹 (主な仕事) 生活保護・障がい者(児)福祉・母子(寡婦)父子福祉

飯南病院 電話72-0221 【院長】角田耕紀 【副院長】三上隆浩 来島診療所 電話76-2309

診療部	【診療部長】松本賢治 【来島診療所長】榎野貴文 (島根県から派遣)	文田昌平(島根県から派遣)・原田愛子(島根県から派遣) 馬淵沙弥佳(島根県から派遣)・馬淵寛也(島根県から派遣)	(主な仕事) 診療
看護部	【看護部長】大上千恵 【病棟看護師長】湯丹百合子 【外来看護師長】三島由美	森口由美子(病棟主任)・市山雅史(外来主任)・藤原真理子・米原美水 木村純子・三嶋圭子・明見葉子・景山友美・伊藤美亜・長岡恵美 坪倉千恵・舛田由里香・高橋綾子・熊谷美樹・岩見桃子・常松沙弥 山本奈那・森山菜美・井上瑠力・宇治田拓美・渡邊真綾 宇治田彩花・黒角梨奈・奥野佳穂・吉中 卓・渡邊洋子(再任用職員)	(主な仕事) 看護・診療介助
医療技術部	【医療師長】角田耕紀(兼務) 【医療技術部次長】大坂健一	田部裕子・古林恵美・齋藤正弥・奥野裕衣・田辺伶奈 森山智博・上田哲也・安田一平・那須有美子・伊藤久実	(主な仕事) 薬剤・栄養・放射線・検査・ リハビリ・歯科衛生
地域医療部	【地域医療部長】石橋奈美	安田香阿里	(主な仕事) 地域連携・健康診断
管理部	【事務長】高橋克裕	【課長補佐】藤原将洋・和田泰裕	(主な仕事) 庶務・会計・医事・施設管理

訪問看護ステーション 電話72-1781

	内田亜紀・影山寛美・長岡嵩斉(飯南病院医療技術部兼任)	(主な仕事) 訪問看護・訪問リハビリ
--	-----------------------------	--------------------

新規採用職員

4月1日付で、次の9人を採用しました。



三上 翔 頓原基幹支所
草間美里 まちづくり推進課
石田壮太 産業振興課
三島亜美 保健福祉課
石橋早紀 住民課



松原芳輝 建設課
浅原美彩 教育委員会
奥野佳穂 飯南病院看護師
吉中 卓 飯南病院看護師

派遣職員紹介

4月1日付で、島根県から派遣された職員を紹介します。



郷原秀文
派遣指導主事

医師紹介

4月1日付で、飯南病院に派遣された医師を紹介します。



文田昌平 飯南病院医長
原田愛子 飯南病院医長

退職者

3月31日付で、次の職員が退職しました。

小玉千恵(保健福祉課)	面坪久美(まちづくり推進課(任期付職員))
石橋佐知子(保健福祉課)	加瀬部初恵(訪問看護ステーション)
空岡悦子(保育所主任調理師)	高橋香織(飯南病院)
和田真一(頓原基幹支所)	平野 愛(飯南病院)
田部宏幸(教育委員会)	河井由佳(飯南病院)
山中律子(頓原基幹支所)	

healthycolumn
健康コラム

保健 医療 介護 福祉

●飯南病院 ☎72-0221 ●来島診療所 ☎76-2309 ●保健福祉センター ☎72-1770

保健福祉センター 高年齢等見守りSOSネットワークにご協力ください
便り

●高年齢等見守りSOSネットワークとは

認知症などにより徘徊のおそれのある高齢者などが行方不明になった場合、早期に見守りできるような行方不明者の情報を会員へ一斉メール配信するシステムです。(雲南警察署・飯南町・雲南市・奥出雲町が連携し運営)
認知症は誰でもなり得る脳の病気で、もの忘れや徘徊もその症状の一つです。一人でも多くの皆さんに見守りの輪に加わっていただき、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを目指しています。令和5年4月13日現在、本町の会員登録者数は120人です。

【登録方法】

- ①右記のQRコードを読み取り、空メールを送信
※迷惑メール設定をしている方はドメイン登録(@ss-center.net)が必要
- ②空メール送信後、30分以内に仮登録通知メールが届きます。メールに記載された登録用URLへアクセス
- ③その後はガイドに従って本登録



『探しています』メールが届いたら、確認を。特徴の似ている人を見かけたら、雲南警察署へ通報をお願いします。

■問合せ 飯南町地域包括支援センター ☎72-1770

こんにちは
中山間地域研究
センターです。

センター図書室のご案内

●中山間地域研究センター ☎76-2025
<https://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



中山間地域研究センターでは図書室を併設しており、町民の皆さんをはじめどなたでも利用できます。

常設の図書は、農林畜産業や中山間地域関係を中心に、児童図書・図鑑などがあり、他に島根県立図書館から絵本や自然科学の本、大人向けの小説などバラエティーに富んだ図書100冊を借り受けて、3カ月おきに更新しています。

図書室の本は誰でも借りることができますが、初めて本を借りられる人は、「利用者カード」を作成しますので、住所が確認できるものを持参してください。

平日だけでなく日曜日でも学生の皆さんの勉強の場、子供さんや家族連れの団らんの場として利用できます。皆さんのお越しをお待ちしています。

- 図書室開室日 日曜日～金曜日（土曜日、祝日、年末年始は閉室）
- 図書室開室時間 9時～17時
- 常設図書 1万3千冊
- 貸し出し 一人5冊まで、21日間（3週間）
- 図書室の情報は、センターホームページに掲載しています



飯南町では、各地域の支援にあたる「集落支援員」と、町内のさまざまな地域課題の解決に取り組む「地域おこし協力隊」が活動しています。

住みよいまちへ

集落支援員

集落支援員として次の6人が、地域の実情と課題を把握し、住民と行政の協働のもと、コミュニティ機能の維持・活性化を推進しています。

- | | |
|-------|-----------|
| ●赤名地区 | 金藤正道 |
| ●谷地区 | 澤田定成 |
| ●来島地区 | 朽木宣夫 |
| ●頓原地区 | 那須久三 |
| ●志々地区 | 桐原 敏 渡部佳子 |



まちを元気に!

地域おこし協力隊

地域おこし協力隊として次の8人が、受入団体と協力し、地域の担い手となり「新しい風」を吹き入れ、さまざまな活動を通して地域の元気づくりに取り組んでいます。

- | | |
|-------------------|------------|
| ●下来島川尻地区担当 | 石橋 篤 |
| ●学習支援館担当 | 瀧尻恵二 |
| ●国道54号沿線活性化担当 | 前田千紗 |
| ●飯南高校魅力化担当 | 永瀬友真 高尾真那実 |
| ●飯南町さつまいも生産者協議会担当 | 藤谷さゆり |
| ●(一社)ファームアシスト飯南担当 | 松尾由貴 |
| ●大しめなわ創作館担当 | 安部知彦 |

4月1日付けで着任し、大しめなわ創作館を担当する安部知彦です。飯南町の伝統文化であるしめ縄づくりを継承、PRしていきます。



楽しい読書週間
図書館探検 飯南町立図書館

第65回「こどもの読書週間」
期間 4月23日～5月12日
標語 「ひらいてとじた笑顔がふえた」



●「お絵描き」のほら」
毎年恒例、図書館の「こいのぼり」企画。今年も子どもたちが作ったこいのぼりで図書館を飾ります。
○こいのぼり型の色画用紙に、うろこを描いてこいのぼりを完成させて、図書館に持って来てください。
※用紙は図書館で配布しています。
型紙配布・回収期間 4月30日(日)
展示期間 5月1日(月)～31日(水)

●「子ども向け雑誌リユース」
みてください。
保存期間が過ぎた子ども向け雑誌を差し上げます。
※当館では、雑誌の保存期間を2年間としています。
「こどものとも」などの読みものが多数あります。ご希望の方はお早めに。
期間 4月23日(日)～5月14日(日)
場所 中央図書館



昨年の子どもの向け特集コーナーの様子



求人情報

直近1カ月に受け付けた求人をご紹介します。詳しい内容を知りたい方、このほかの求人情報をご覧になりたい方は、お問い合わせください。求人情報の閲覧のみも可能です。

飯南町無料職業紹介所 ☎76-2864 (役場まちづくり推進課内) ※表示のない市外局番は「0854」です

Table listing various job openings with details such as company name, position, age requirements, and contact information.

Table listing various job openings with details such as company name, position, age requirements, and contact information.

●補助限度額 30万円
●申請期限 5月19日(金)
●対象事業 ①〜③(全てに該当)
①対象団体自らが企画・実施する活動
②若者・女性の参画によるまちづくりと交流の場を広げる活動
③若者・女性の参加機会の充実と参加意識の高揚を図る活動

町では「若者と女性の活躍による元気あふれるまちづくり」の推進のため、「飯南町若者と女性の活躍応援事業補助金」による助成を行っています。

若者と女性の活躍応援事業を募集しています

協会けんぽ加入の被扶養者の皆さんが受診できる健診

40〜74歳の被扶養者の皆さんが受診できる健診は、協会けんぽの特定健康診査です。この健診は、協会けんぽから費用補助があります。健診のお申込みは、ご希望の健診機関に直接予約をお願いいたします。受診の際には「受診券」と「保険証」が必要です。



協会けんぽ島根支部

問合せ
全国健康保険協会(協会けんぽ)
島根支部 保健グループ
☎0852・59・5204

自動車税種別割の納付

自動車税種別割の納期限は5月31日(水)です。納期限までの納付をお願いします。

納税通知書とスマートフォンやパソコンがあれば、QRコードなどを利用した便利なキャッシュレス納付も利用できます。納税通知書が届かない場合は、お問い合わせください。

納付方法
●キャッシュレス納付(スマートフォン・クレジットカード・インターネットバンキング)
●コンビニ支払い
●金融機関、島根県東部県民センター窓口支払い
●期限までの納税が難しい方は、一定の要件に該当すれば、申請により納税の猶予を受けられる場合があります。詳しくは島根県の県税のホームページを確認してください。

狂犬病予防注射を実施します

時間と場所を確認のうえ、会場にお越しください。(予約不要)
問合せ 住民課 ☎76・2213

Table showing vaccination dates and locations for different regions: 飯原・志々地区 (May 26), 来島地区 (May 25), and 赤名・谷地区 (May 24).

森林セラピー通信
森のたより
(一社)飯南町観光協会
☎76-9050

救命救急講習を開催

3月11日に、町内のガイド団体を対象に救命救急講習を行いました。雲南消防署の方を講師に招き、飯南町で起こりうる状況を想定した講習に、参加者も真剣でした。また、このご時世、人工呼吸ができない場合も想定して、胸骨圧迫をひたすらすることに。参加者一同ヘトヘトになりました。野外での事故では、初動が何より肝心です。具体的にイメージしながら訓練することで助かる命もあります。事故は起こらないことが一番ですが、もしもの時は実際の現場で活きることを願います。



セラピーロードを整備

3月25日に、セラピーロードを整備しました。一部にはまだ雪が残るロードですが、秋から冬にかけての落ち葉や、雪の影響で折れた枝などが散らばっています。



今回は一日かけて、約2・3キロメートル(全ロード)の整備。午後からは暖かい日差しも降り注ぎ、落ち葉を取り除いたロードに日が当たると、ウッドチップのいい香りが広がりました。また、森の中ではヤマシャクヤクの芽やミヤマカタバミ、アオイスミレやオウレンなど、キュートな花々が咲き始め、いよいよ春がすぐそこまで来ていることを実感しました。



短歌

頓原公民館短歌教室

三月詠草



馴れている積りで過ごすこの寒波肌身に凍みいる八十路を歩む
安部 徳則
目の前で繰り上げ号砲無念なり倒れ込み泣く九区走者よ
石川 隆
春待たず風花の空に逝きし友八十路の花も未だ咲かさず
景山サチ子
希に観る朝日に光る小枝にも真綿をかむり眩しさ誘う
景山 稔
冬枯れの雪積む山の夕焼けに寒さも吹つ飛ぶほどの絶景
景山 牧栄
黒豆を炊きつつ娘と在りし日の煮豆好みし夫を偲びぬ
片岡 千鳥
年末に飾りし梅のふつりとつばみ膨らむ厨の窓辺
塩田美代子
音沙汰の途絶えし友の年賀状、もの忘れはお互い様と返信す
千葉トミエ
晴間みて雪の畑より持ち帰り鍋いっぱいの大根を煮る
本間 啓美
いつの日も知人友人に支えられれ勇気蓄え幸せにいる
三上 朋子
粉雪が呼吸のやうに舞ひ降りて色なき盆地を白く染めたり
鳥田 勝信

文化を感じるまちへ 飯南町文化協会

事務局(教育委員会内) ☎76・3944

飯南町の文化振興を願って文化交流会を開催

3月5日(日)に、赤名農村環境改善センターで「文化交流会」を2年ぶりに開催しました。飯南町文化協会加盟団体の成果発表の場であり、舞台スタッフ研修の実践の場でもある交流会には、文化協会に加盟する9団体、約50人が参加。加盟団体のステージ発表や作品の展示があり、大いに盛り上がりました。新型コロナウイルス感染症拡大前は、食べ物を囲み和気あいあいと開催していたため、当手を振り返り残念そうな表情を浮かべた参加者もいました。今回の交流会は、舞台スタッフ研修会の最終演習も兼ねていたため、ステージ発表の際には、研修生の力で舞台の照明や音響などが見事に調和。4人の研修生には、今回の学びを今後にかしてもらいたいです。新型コロナウイルス感染症のため十分な活動ができない状況で、以前に比べて参加団体も少ない交流会となりましたが、久々の会員同士の再会に笑顔あふれる交流会となりました。



パイプレイヤーズによる演奏



舞台スタッフ研修生によるあいさつ

今月の人権標語
「家族でつくる人権標語」優秀作品から

「ありがとう」
言って言われて
いい気持ち

志々小6年 小野田 楓さん
家族名 小野田花菜さん

標語に込められた想いをみんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

すこやかに 3月届出分

新生児 届出人 地区
石飛 羽唯 完 多(頓原)
中山 美杏 高 樹(下赤名)
薬師寺咲良 良 樹(上赤名)
高橋いろは 利 英(野萱)

やすらかに 3月届出分

お名前 親族 地区
藤原 康子様(91) 稔 (都加賀)
吾郷 映子様(90) 浩 彦(角井)
三島 猛登様(85) 崇 暁(上赤名)
難波 幾子様(93) 健 治(上赤名)
酒井 保様(94) 敦 夫(真木)
渡邊 春海様(76) 譲 文(小田)
薬師ミツエ様(87) 正 登(上赤名)

今日の表紙

高校への坂道を笑顔で歩く二人の生徒。新入生の澤田和奏さん(右)と2年生の難波ちひろさん(左)です。異なる二人の制服。飯南高校は今年度から制服を変更しました。新入生と2、3年生で制服は異なりますが、生徒同士が多様性を認め合える学校を目指します。



2023
5

まちのスケジュール

📖 教育 + 健康・保健 🌟 文化・体育 💧 その他

1 月	◆ 国民健康保険料納期限 ◆ 後期高齢者医療保険料納期限 ◆ 軽自動車税納期限
2 火	
3 水 憲法記念日	
4 木 みどりの日	◆ わくわくゴールデンふえふ (交流センターとんぼら前広場)
5 金 こどもの日	
6 土	
7 日	📖 授業公開日、PTA総会(頓原中) 🌟 みんなの広場子ども音楽会(来島交流センター)
8 月	
9 火	
10 水	+ ほっと。Café【ベビーマッサージ】(来島保健センター) ◆ 行政相談会(さつき会館)
11 木	
12 金	
13 土	◆ 賀田城新緑ウォーキング(加田の湯周辺)
14 日	◆ ぼたんまつり(赤名観光ぼたん園周辺)
15 月	
16 火	
17 水	📖 小学校陸上大会 🌟 ほっと。Café(来島保健センター)
18 木	
19 金	
20 土	📖 授業公開日、PTA総会(赤来中)
21 日	🌟 おはなし会【英語で楽しもう】(中央図書館) ◆ しまね家庭の日
22 月	
23 火	
24 水	+ ほっと。Café(来島保健センター)
25 木	📖 小学校修学旅行<~26日>
26 金	◆ はぴこ無料結婚相談会(役場本庁舎)※予約制
27 土	🌟 きじま里山講座【国宝松江城の魅力・石見銀山争奪戦】(来島交流センター)
28 日	
29 月	
30 火	
31 水	📖 中学校雲南飯南仁多ブロック大会(総体)<~6月1日> + ほっと。Café(来島保健センター) ◆ 国民健康保険料納期限 ◆ 軽自動車税納期限 ◆ 後期高齢者医療保険料納期限



社会人として働きだしてから、自分のために時間を持つことができなかつた妹尾さん。独立後は少しだけ時間に余裕ができたそう。「空いた時間は読書ですね。興味のないジャンルを読むことで、学びがあるんです」と話していました

「人に優しく、相手の立場に立って仕事をしています。仕事を通して、多くの人に笑顔になってもらいたい」と話す妹尾優汰さん。広島県で個人事業主としてWeb集客アドバイザーなど幅広く仕事をしています。妹尾さんは、専門学校卒業後に障がい者施設に勤務。利用者の皆さんの笑

「ルーツ いいなん 21」

このまちに住んでいようと、なかるうと、ルーツをたどれば飯南町。生まれや育ちは違っても、飯南町に縁やゆかりがある。そんな人たちが紹介されます。今回登場した人が次の人を指名。つながり続くよごまで。

感動とワクワクを

顔に触れる中で、より多くの人に笑顔を届けることができなかつたかと漠然と感じていたと言います。そんな時、同郷の先輩に誘われ、サービス業での起業に携わることになりました。「関わったことのない分野ですし、起業するのも初めてでしたけど、新しいことに挑戦するのはワクワクしましたね」と妹尾さん。起業から約6年間、取締役として奔走し、大変なことも乗り越えてきました。昨年、事業も軌道に乗り、順調な業績を上げの中で退社。独立することを決意した妹尾さん。一歩踏み出す勇氣を与えてくれたのは、親と高校時代の



せお ゆた 妹尾 優汰
飯南町長谷出身。飯南高校、保育系専門学校を卒業後、知的障がい者施設に勤務。退職後、新規事業の起業に携わり、昨年7月に独立。現在は、個人でweb集客アドバイザー兼企業のマーケティング(28歳)

恩師の教えでした。「自分のやりたいことをやらせてくれ、人に優しくしろと言いつづけてくれた親と、何事にも一生懸命、誠実に取り組むことの大切さを教えてくれた恩師に感謝しています」と話す妹尾さん。独学でいろいろな知識を身につけながら、新たな挑戦を楽しんでいるそう。今後は、地方創生やまちづくりにも取り組んでみたいと笑顔で話す妹尾さん。「サービス精神を持って、多くのの人に感動とワクワクを」の信念を持ち、これからも多くのの人に笑顔を届けます。

ごみ収集日	金属類・灰類 くつ類・プラスチック類	陶器・ガラス類 くつ類・プラスチック類	資源物	
収集地区	収集日	収集日	収集日	
頓原	頓原連坦地	29日(月)	15日(月)	17日(水)
	八神連坦地	31日(水)	17日(水)	
	連坦地以外	30日(火)	16日(火)	
赤来	赤名連坦地	22日(月)	8日(月)	24日(水)
	来島連坦地	24日(水)	10日(水)	
	連坦地以外	23日(火)	9日(火)	

し尿汲取り日

汲取り地区	汲取り日
頓原・志々	9日(火) 11日(木)
赤名	20日(土) 24日(水)
来島	13日(土) 17日(水)

【いいしクリーンセンター】 ☎72-9217
【クリーン(株)】 ☎72-1401(頓原地域)
【クリーン(株)】 ☎76-2441(赤来地域)

決められた日時を必ずお守りください。

町の人口 4,506人(前月比-36人) 男性2,133人 女性2,373人 世帯数1,999戸 R5.4.1 現在

マチイロ
スマホで
広報誌を
読んでみ
ませんか